



Iwakuni City Topics | まちの話題

美和町 旧長谷小学校

紙すきで卒業証書作り

1月30日、美和中学校の3年生26人が、手すき和紙での卒業証書作りに挑戦しました。

平成22年に当時の中学生が植樹したミツマタが主な原料で、昨秋から1年生と2年生が刈り取りや皮剥ぎを行うなど、この日のために準備をしてきました。

講師から手ほどきを受けた生徒たちは、慣れない手つきながら真剣に紙すきに挑戦しました。

作成した卒業証書は、3月10日に行われる卒業式で、自分自身に贈られます。

1. 紙の厚さが均等になるように集中。
2. あまりの難しさに思わず笑みがこぼれる。
3. 厚みを出すためには3回4回とすくい取る必要がある。最後の1回で紙にむらができ、一からやり直しになることも。
4. うまくできたらヘラで細かい仕上げをする。
5. 水分を吸い取った紙は、木板に貼りつけて約1週間乾燥させる。
6. 長谷みどりの会の篠田会長が原料のミツマタとコウゾを手紙すきの概要を説明。
7. おおたけ手すき和紙保存会の中本会長の説明を真剣に聞く生徒たち。
8. 平成22年の植樹からさまざまな工程を経て、紙すきの日を迎えた。





国境を超えて 教育を考える

1月8日、韓国慶尚南道学校運営委員会委員長協議会が、由宇地域協育ネットの活動視察のために由宇中学校を訪れ「アンニョンハセヨ」と大きな歓迎を受けました。視察団を代表し朴鐘勳パクジョンフン氏が訪問あいさつをした後、活発な意見交換がされ「地域と学校が連携した教育」の大切さをお互いに確認しました。



すがすがしい気持ちで新年を

周東町の高照寺山で「元旦早朝登山」が行われました。高照寺山頂は瀬戸内海の島々をはじめ、遠くは四国の山並みを見渡せる大変眺望のよい場所です。当日は地域住民や帰省客、スポーツ少年団など200人を超える参加がありました。天候に恵まれご来光を拝むことができ、輝かしい一年の幕開けとなりました。

Iwakuni City Topics | まちの話題



早春の桜づつみを駆ける！

1月10日、「第17回玖珂桜づつみロードレース大会」が開催され、遠くは埼玉県からの参加者を含む850人が、早春の冷たい空気の桜づつみを力いっぱい駆け抜けました。開会式の後に行われた、招待選手梅木蔵雄氏による「走り方教室」では、競技を前にした参加者が真剣に耳を傾けていました。



親睦を深めながら初詣

1月9日、錦川清流線を利用して宮島町の厳島神社に初詣を行う「新春初詣列車」が運行されました。錦川清流線の利用拡大のため毎年恒例で行われている初詣列車は今回で36回目で、今年は104人の参加者でにぎわいました。今年一年の無病息災を祈願した参加者は昼食を共にし、親睦を深めました。



成績が上がりますように

1月10日、本郷各地域で「とんど焼き」が行われました。正月の門松・しめ縄・書き初めなどを燃やすお正月の火祭りです。

昔からとんど焼きの火にあたり焼いた餅を食べたりすれば、その一年間健康でいられるなどの言い伝えがあり、無病息災・学業上達を祈る子供たちの顔は真剣でした。



心気力一致を目指して

1月17日、美和トレーニングセンターで「第37回美和新春剣道大会」が開催され、市内外から20団体236人の参加がありました。厳しい寒さにもかかわらず会場は熱気に包まれ、参加した剣士たちは気合いの入った掛け声とともに竹刀をぶつけ合い、日頃の鍛錬の成果を競い合っていました。



かわいい赤鬼つくっちゃお♪

1月22日、中央公民館で「飾り巻き寿司教室」が開かれました。挑戦したのは赤鬼の顔をした太巻きです。15人の参加者は、講師が作った見本と図面とを見比べながら、レシピどおりに切った材料を頭から積み重ねていきました。慎重にのりで巻いた後、包丁を入れるとそれぞれ個性的な赤鬼の顔が現れました。



無病息災を祈って！

1月10日、美川町竹ノ爪河原で子供会主催の「とんど焼き」が行われました。子供の減少によりやぐらの大きさは年々小さくなっていましたが、近年は地域住民の参加によりまた大きくなっています。竹が勢いよく音をたてて燃える様子を見ながら、参加者全員で一年間の無病息災を祈り、豚汁やおしるこを食べました。